



発行  
平成19年7月21日  
相模原市文化財調査・普及員  
広報グループ

～「さねさし」とは、相模国の枕詞です～

### 市内初の遺跡公園

しせきたなむかいほらいせきこうえん

## 史跡田名向原遺跡公園の開園！

平成19年3月31日(土)に市内初の遺跡公園で、全国的にも数少ない旧石器時代の遺構などを復元した史跡田名向原遺跡公園が開園しました。今回は、遺跡公園の紹介と開園イベントにスタッフとして参加した文化財調査・普及員の手記を紹介します。

市内初の遺跡公園「史跡田名向原遺跡公園」が開園し、3月31日に開園記念イベントが開催されました。式典準備には、地元田名塩田の大勢の方々の協力がありました。

文化財調査・普及員も考古班を中心に西部班、南部班等の有志が受付、展示物の案内解説、谷原14号墳への記念植栽等のスタッフとして参加しました。



ようこそ遺跡公園へ…  
(受付での活躍)

今回、私は解説案内のスタッフとして参加しましたが、展示物について事前の

講習があったとはいえ、不安を抱えての対応でした。

午前中は、開園式典参加者への案内が中心でしたので、「遺跡公園が市内にできたということの意義は大きい」というような声を多く聞きました。

開園式典後、午前11時から、一般の方も来られるようになり、興味深く施設を見回っていました。これらの方の中で、昔の人はなぜこの地を生活の場として選んだのかということを質問した来園者がおり、田名

### 目次

- ①・史跡田名向原遺跡公園の開園！  
～開園イベントの解説案内体験記～
- ②・文化財調査・普及員年間活動予定  
・古民家園保存・普及事業の紹介
- ③・江戸時代の面影を残す一筋  
西大沼の道者みち(大山道)  
・口紅をつけたお地藏様(相原正泉寺)
- ④・文化財マップ紹介  
一原当麻駅～田名向原遺跡公園ー  
・文化財保護課からのお知らせ

向原という土地ならではの質問と感じました。

また、一般の方への案内では、遺跡発見の経緯や、公園開園までのいきさつなどの話に興味深く耳を傾けてくれる人が多かったように思います。

幸いにして？今回は専門的な質問に出会うこともなく、なんとか“にわかガイド”の役を果たすことができました。今後も遺跡公園の普及に協力していきたいと思っています。  
(考古班・南部班 畠山義)

### 約2万年前の住居状遺構の発掘状況を再現しました



### 史跡田名向原遺跡公園の案内

所 在 田名塩田3丁目13番

開園時間 8:30～18:00 (11～3月は17:00閉園)

\*入園無料です。場所は4ページをご覧ください。

## 市民の手で守り伝える文化財 平成19年度文化財調査普及員・年間活動予定

市民と行政のパートナーシップに基づいて発足した文化財調査・普及員制度も、今年で5年目を迎えました。1期・2期の登録者合わせて合計47名が地域ごとに五つの班に分かれて活動しています。

今年度は、旧津久井郡地域と旧市内の一部の地域を対象に登録者の募集が行われ増員の予定で、文化財保護・普及行政の充実に、更に寄与できるものと思っています。

1. 文化財調査・普及員委託事業
  - (ア) 古民家園の燻蒸及び普及事業
  - (イ) 史跡田名向原遺跡公園案内・普及事業
2. 教育委員会主催事業への参加
  - (ア) 市民調査員としての参加…遺跡発掘調査等
  - (イ) スタッフとしての参加

市民文化財めぐり 勝坂遺跡まつり  
民俗芸能大会 文化財展等

3. 自主活動
  - (ア) 文化財パトロール(災害時及び年2回以上)
  - (イ) 分野別グループの調査研究及び発表  
民俗、考古、石造物、古道・地名の各班
  - (ウ) 運営、広報グループ会議  
企画、運営、情報交換等
  - (エ) 通信紙「さねさし」の発行 年3回
4. 研修・その他
  - (ア) 城山町、藤野町文化財めぐり
  - (イ) 文化財調査・普及員第3期生講習会講師等
  - (ウ) 第3期生文化財めぐり

(東部班 太田)



古民家園での  
水銃砲作り!



地域の石造物  
を調査中!

### 古民家園保存・普及事業の紹介

### 毎月第4日曜は古民家園の日

今年度も昨年に引き続き毎月第4日曜日の午前10時から下記のとおり古民家園の普及事業を開催します。あそび、学べる内容ですので、ご家族や友人を誘って、ぜひ一度ご来園ください。

今年度最初の事業「古民家園周辺の自然観察と草花あそび」が5月27日(日)30名程の参加で行なわれました。

講師の真山さんと川崎さんの案内で、自然の村公園内の木々や近隣の道端の、日頃は気にも留めない野草の名前や特徴、類似の毒草との見分け方など、1本1草ごとに、丁寧な説明を受け、参加者の中にはメモを取っていた人もおり、野草や木の葉で作った笛など、子供達はとても上手に鳴らしていました。

(古民家園保存普及事業実行委員会 西田)

5月27日「自然観察と草花あそび」

6月24日「津久井城の歴史ばなし①」

7月22日「大正琴・コーラスコンサート」

8月26日「水でっぼう作り」

9月23日「民俗芸能公開事業」

10月28日「津久井城の歴史ばなし②」

11月25日「木の葉であそぼう」

12月23日「正月飾り作り」

1月27日「正月行事関連事業」

2月24日「たこ作り」

3月23日「竹とんぼ作り」

楽しい自然観察に出発!





にしおぬま とうしゃ  
西大沼の道者みち（大山道）

## 江戸時代の面影を残す一筋

大野台小学校の正門前に、「道者みち」の地名標柱が建てられています。江戸時代に



地名標柱

大山参りの人々がよく利用した道なのでそのように呼ばれていました。また、大山道、磯部道、木曾道とも呼ばれ、府中から町田の木曾を

通って境川を渡り、淵野辺の龍像寺坂を上って、大沼新田の北側を通り相模野を横切り磯部の渡しへと続く道でした。

今も大野台小学校の校庭に沿って、真っ直ぐ南西に向かって残されています。

り、道幅が広がって舗装されていますが、万緑の中を約1キロ、会社の敷地を隔てるフェンスに突き当たりますが、金網越しに見える未舗装の数十メートルの「みち」が当時の面影を彷彿とさせ、思わず歩みを進めたくになります。

大山は江戸時代の最盛期には夏の山開きの折に、いちばんに賑わいをみせたそうです。「道者みち」も夏場は白衣姿の大山詣でをする人々が多数行き来したことでしょう。今年も大山では7月27日に「夏山開き」が行われます。

（東部班 宮下）

雑木林の中の道者みち



金網越しに未舗装の道者みちが続く

あいらしょうせんじ じそうさま  
口紅をつけたお地蔵様 相原正泉寺のお地蔵様

相原の古刹、龍源山正泉寺は、関東百八地蔵尊霊場の第91番札所として昔から、遠地近在の信仰を集め親しまれている名刹です。

この正泉寺には地蔵尊霊場に相応しく、静かな境内にはたくさんの石造お地蔵様が安置されておりますが、なんと！お地蔵様のお口が赤く装われ、なんとも愛らしく微笑ましく、お祭りの時のお稚児さんのように人の心を和ませて下さいます。当寺ご住職の奥様のお話を伺いました。

これら口紅を装われたお地蔵様は、【朱唇仏】と称されておられる由、その由来は比較的新しく昭和53年、夭折した我が子の菩提を弔い、その霊を慰めるためにお地蔵様を奉納安置してご詠歌を奉唱する大きな法要が営まれた際に、今は亡き我が子の供養と共に、その後生まれた子供の無病息災子育ての悲願を込めた親心から始まったとのことです。

仏縁を大切になさっている奥様によると「全国各地の観音霊場巡礼参拝でも、関東、東北では他に例をみたことがない」とのことです。正泉寺を訪問し、朱唇仏のお地蔵様と、奥様の優しいお話に邂逅してみませんか。

愛らしい口紅のお化粧



# はらたいま しせきたなむかいはらいせき 原当麻駅～史跡田名向原遺跡公園周辺 文化財めぐり



今回は原当麻駅西口に史跡田名向原遺跡公園までの文化財案内板ができましたので、この間の主な文化財を紹介しします。まず①東原古墳へ。公園の端にある古墳の上に立つと木々の間から相模川が見え、古代の人たちもこの景色を見たのかしらと想像しました。②あずま坂を下り一遍上人の祖父ゆかりの③三嶋神社へ。④当麻山無量光寺からは交通量の多い⑤ひかげ坂を避け、笈退の遺跡を水源とする水路のある市場の集落の通りを抜け、旧相模原市域唯一の⑥天満宮へ。国道129号線の下⑦おまちの滝や道祖神を見て、懐かしさを感じる古い道を歩く。相模原ポンプ場のフェンス越しに⑧谷原1号墳を眺め、⑨金山神社を回

**\* 次号以降も各地区の文化財マップを紹介しします。ご要望があれば、文化財調査・普及員が各地区の文化財の案内をいたしますので、文化財保護課までご連絡ください。**

て⑩史跡田名向原遺跡公園に到着。ゆっくり趣を味わいながら歩いて2時間。帰りは遺跡公園の前からバスに乗りました。(バスは1時間に1本なので気をつけて！もちろん歩いてgood!) (南部班 稲葉、内田、阿部)

## 文化財保護課からのお知らせ

### 平成19年4月1日付けで新たに市指定文化財6件、市登録文化財5件を追加!

平成19年4月1日に新たに市指定文化財6件と市登録文化財5件が追加されました。今回は、主に旧津久井町、旧相模湖町の文化財が多く指定・登録されました。一例としては、津久井城山頂にある建立に際し松平定信等多くの著名人がかかわった「築井古城記碑」などです。今後、これらの文化財の紹介リーフレット等を作成する予定です。

### 「勝坂遺跡」の発掘調査まもなく開始!

勝坂遺跡の整備に向け、勝坂遺跡の発掘調査が始まります。8月19日(日)の午後1時から3時まで、遺跡見学会を開催する予定ですので、皆さまぜひご参加ください。詳しくは、広報さがみはら8月15日号をご覧ください。

### 文化財調査・普及員の活動や「さねさし」を市のHPでどうぞ!

文化財調査・普及員の活動や通信紙「さねさし」の創刊号から7号までを相模原市のホームページで見ることができます。次の手順で閲覧できますので、どうぞご覧ください!

相模原市ホームページ → 観光・文化 (一覧を表示) → 文化財・史跡 → 文化財調査・普及員

発行連絡先 相模原市教育委員会文化財保護課 電話 042-769-8371



指定文化財になった  
津久井城山頂にある  
「築井古城記碑」